



優秀賞

文教施設等
分野

リファイニング建築で蘇った屋内運動場

老朽化した中学校屋内運動場の長寿命化を図り活用した取組

取組概要

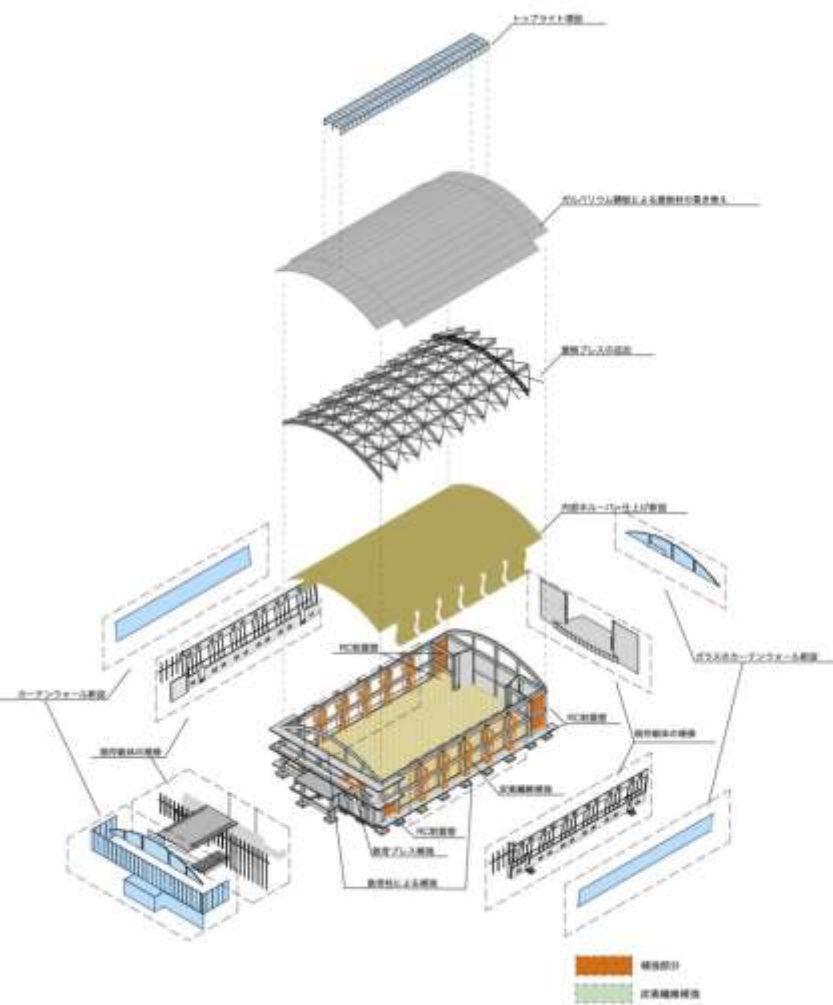
老朽化によりモルタルの落下等で危険な状態であった福岡県八女市立福島中学校屋内運動場（S36建築）の対策に、建て替えではなくリファイニング建築での大規模改造を採用して、大胆な意匠の転換や用途変更、耐震補強を実現し、老朽化した建物をまったく新しい建物として蘇らせ長寿命化を図った取組。

受賞理由

老朽化した学校体育館について、建て替えではなく、既存の建物の柱や梁など構造上必要な部分を残して解体した上で、新たな施設に活用する手法により長寿命化改修に取り組んだ先駆的な取組であり、耐震性の確保だけでなく、建設コストの削減や産業廃棄物の抑制も実現している点が評価された。

取組のポイント

築40年以上が経過する中学校屋内運動場の建て替えにおいて、学校施設としては全国的に例の少ないリファイニング建築により躯体を生かし耐震補強や意匠の転換、長寿命化等を行い、建設コストの縮減や産業廃棄物の抑制も実現している。



既存屋内運動場外観

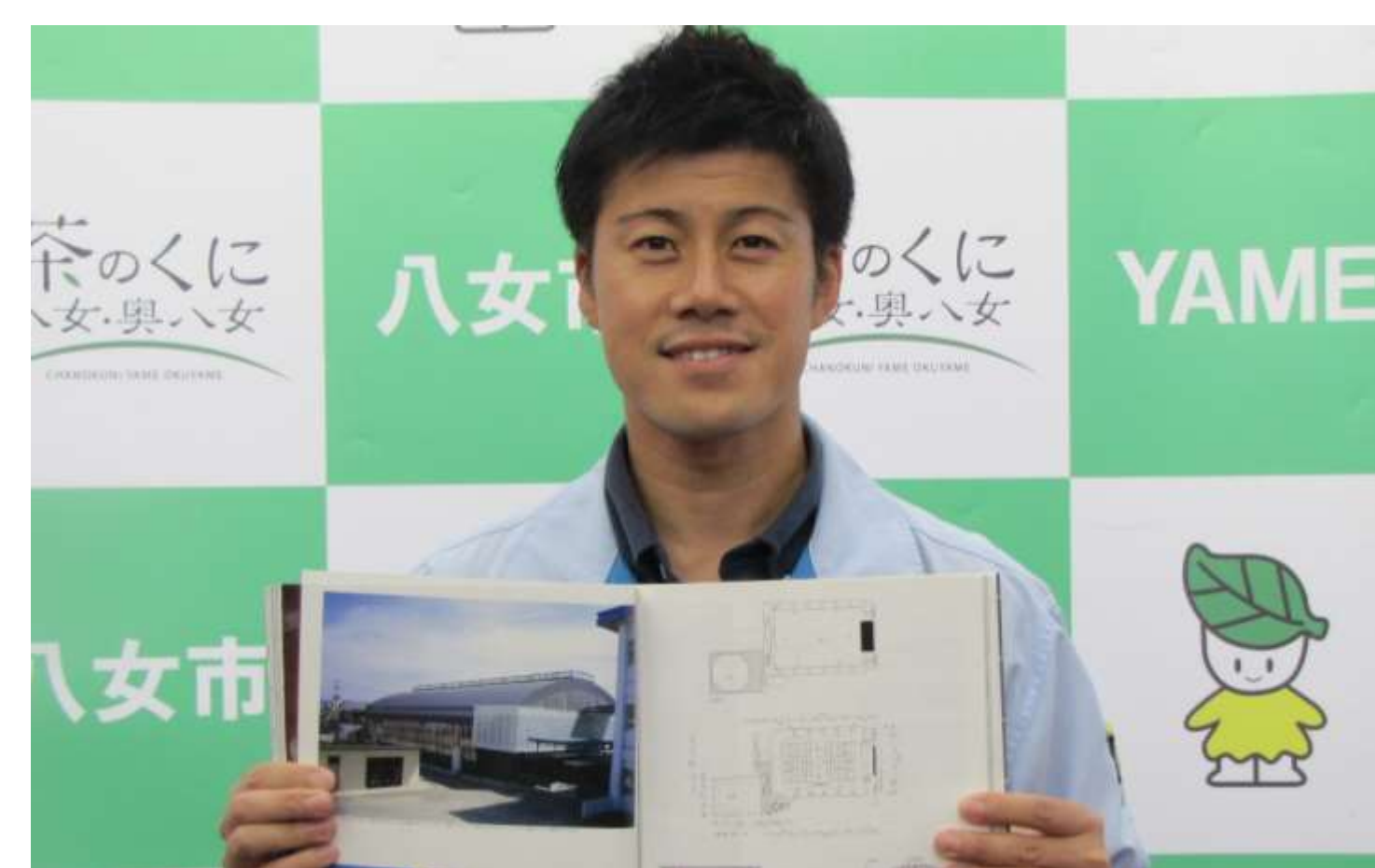


解体工事完了時



改修後屋内運動場外観

受賞者について



受賞者

八女市教育委員会
柿添 宏暢

コメント

改修当時（H15）は、まだまだ長寿命化改修への理解も少なく、対応に苦慮したこともあり、今回の受賞は本当に嬉しく思います。現在着手している別施設の長寿命化改修の取組にも弾みがつきました。ありがとうございます。

団体概要

福岡県の南西部に位置する人口約6万5千人の地方都市。茶・電照菊などの農産物や手すき和紙・仏壇・提灯などの伝統工芸品が特産。当施設以外にもう一件リファイニング建築で長寿命化を図った施設（多世代交流館）を有する。

問い合わせ先

八女市教育委員会 学校教育課 施設係
柿添宏暢
0943-23-1954 / shisetsukakari@city.yame.lg.jp